

# 諏訪市文化センター改修に関する 市民向け説明会

令和5年7月30日 於：諏訪市文化センター 第2集会室

# 目次

1. はじめに
2. 施設・使用実績の比較
3. 施設の状態
4. 文化センターの歴史・文化財的価値
5. これまでの経過
6. 保存活用計画における保護の方針
7. 改修検討資料
8. 今後の見通し・進め方と概算費用
9. 改修後のビジョン
10. 財政指標の見込み

# 1. はじめに

## 文化センターの位置付けと改修の意義

- 唯一の市民ホールとしての役割を担うとともに、市民の活動の拠点であること。
- 災害対策基本法に基づき、市にとって重要な広域避難所であること。
- 文化勲章を受章した建築家吉田五十八の作品であり、現存する希少かつ貴重な文化財であり、専門家をはじめ、多くの関心を集めていること。
- 文化センターの改修に関しては、これまでの間、段階を踏んで、慎重に検討を積み重ね今日に至っていること。
- 令和5年3月に策定された上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョンにおいて、駅周辺のマネジメントのひとつの場所として位置づけられたこと。
- 北澤工業および諏訪市の機械工業の歩みを伝える生きた証であること。

## 2. 施設・使用実績の比較

### 諏訪市文化センター・茅野市民館・岡谷市文化会館 施設比較

諏訪市文化センター			茅野市民館			岡谷市文化会館		
場所名	定員	備考	場所名	定員	備考	場所名	定員	備考
ホール	904人	1F:518人 2F:386人	マルチホール	780人	1F:556人 2F:224人 車いす席:6席設置可能	大ホール	1446人	
舞台	-	間口11m×奥行12.6m×高さ13.3m (間口26.5m)	舞台	-	間口14.3m×奥行16.6m×高さ9m	舞台	-	間口18m×奥行16m×高さ9m
1F楽屋控室			楽屋(大)2室		39.5㎡/室 可動間仕切りで1室としての利用も可	楽屋4室		
2F楽屋(大)			楽屋(小)2室		14.3㎡/室	リハーサル室		幅7.1m×奥行15.6m
2F楽屋(中)						第1練習室		幅5.9m×奥行5.5m
2F楽屋(小)						第2練習室		幅5.9m×奥行8m
託児室								
ホワイエ	-		ホワイエ	-	約166㎡			
			コンサートホール	300人	車いす席4人	小ホール	300人	移動席、電動稼動椅子有144人。別に親子席4席
			舞台	-	間口13.8m×奥行5.5m×高さ12m	舞台	-	間口17m×奥行5.5m×高さ6.7m
			楽屋(大)2室		31㎡/室 可動間仕切りで1室としての利用も可	楽屋2室		
			楽屋(小)2室		14.3㎡/室			
第1集会室	120人					第1会議室	24人	40.88㎡ 机8台
第2集会室	120人					第2会議室	24人	40.88㎡ 机8台
第3集会室	30人							
貴賓室								
その他の設備 1F:調理室(約30㎡)			その他の設備 広場(中庭・東広場)、テラス、イベントスペース、レストラン、市美術館(ギャラリー3)、アトリエ、スタジオ2、市図書館を併設			その他の設備 喫茶室(店)あり		

# 施設利用状況の比較

## ○利用率の比較

年度	諏訪市文化センター			茅野市民館						岡谷市文化会館					
	ホール			マルチホール			コンサートホール			大ホール			小ホール		
年度	開館日数	利用日数	利用率	開館日数	利用日数	利用率	開館日数	利用日数	利用率	開館日数	利用日数	利用率	開館日数	利用日数	利用率
平成28年度	307	148	48.2%	280	148	52.9%	290	111	38.3%	247	158	64.0%	244	139	57.0%
平成29年度	307	156	50.8%	296	158	53.4%	296	150	50.7%	270	151	55.9%	240	131	54.6%
平成30年度	307	153	49.8%	296	183	61.8%	297	128	43.1%	267	130	48.7%	276	129	46.7%
令和元年度	306	140	45.8%	293	148	50.5%	293	123	42.0%	266	134	50.4%	278	158	56.8%
令和2年度	233	62	26.6%	248	145	58.5%	251	55	21.9%	168	59	35.1%	226	62	27.4%
令和3年度	306	64	20.9%	265	141	53.2%	273	96	35.2%	241	102	42.3%	261	111	42.5%
令和4年度	306	104	34.0%	268	163	60.8%	295	145	49.2%	未集計					

## ○利用者数の比較

年度	諏訪市文化センター		茅野市民館					岡谷市文化会館	
	開館日数	利用者数	自主事業		自主事業以外		合計	開館日数	利用者数
平成28年度	307	147,531	280	7,080	280	105,173	112,253	247	96,656
平成29年度	307	150,431	296	7,412	296	101,831	109,243	270	99,080
平成30年度	307	149,284	296	13,191	296	112,624	125,815	267	88,403
令和元年度	306	128,227	293	6,165	293	100,241	106,406	266	92,410
令和2年度	233	40,538	248	3,697	248	28,446	32,143	168	17,664
令和3年度	306	39,793	265	1,500	265	35,758	37,258	241	34,040
令和4年度	306	61,390	268	5,213	268	54,447	59,660	273	65,098

※図書館、美術館利用者は別

※大ホール開館日数

※茅野市、岡谷市の令和4年度数字は未公表

## ○諏訪市文化センターの運営状況

年度	諏訪市文化センター	
	運営費 (円)	使用料収入 (円)
平成28年度	28,753,593	7,497,420
平成29年度	28,959,410	7,708,757
平成30年度	28,588,383	7,664,866
令和元年度	27,420,032	8,320,876
令和2年度	25,992,570	4,579,046
令和3年度	27,215,404	3,625,369
令和4年度	30,723,274	6,478,603

## ○最近の主要修繕工事

### H27年度工事費内訳

トイレ改修工事費	8,635,680
舞台枝滑車等取替工事費	11,469,600

### R3年度工事費内訳

雨水排水管改修工事	3,135,000
-----------	-----------

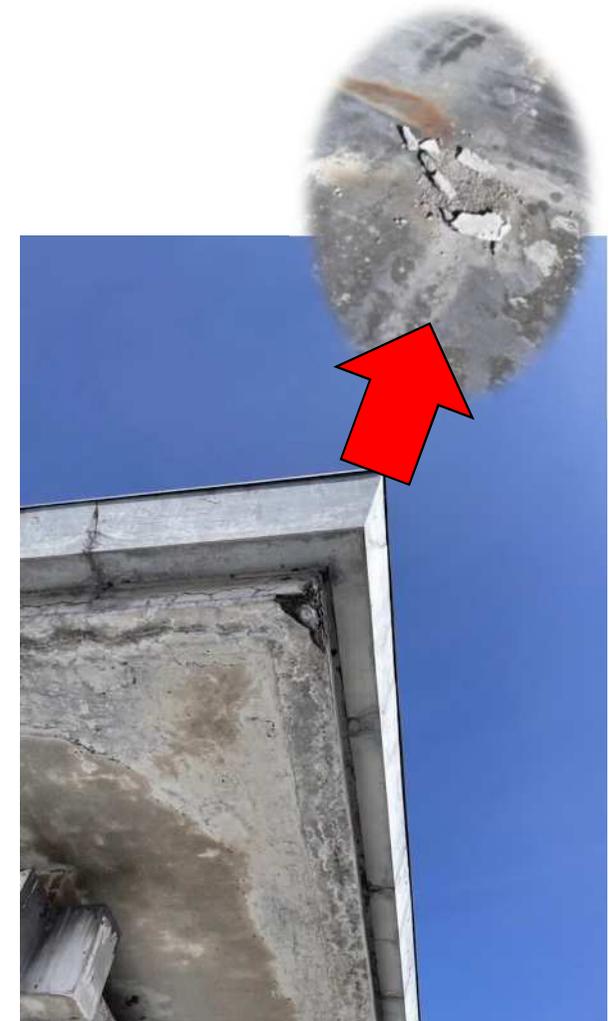
### R4年度工事費内訳

陸屋根防水補修工事	4,400,000
-----------	-----------

### 3. 施設の状態

#### 施設の状態

外装劣化が要因の雨漏りが常態化し、内装劣化に繋がっている



## 4. 文化センターの歴史・文化財的価値

諏訪市文化センターの歴史・文化財的価値①

広報すわ令和5年1月号特集ページ掲載



国登録有形文化財

諏訪市文化センターの魅力に迫る！

諏訪市文化センターは、昭和37(1962)年に北澤工業株式会社の福利厚生施設「北澤会館」として建設されました。その後、昭和52(1977)年に諏訪市が取得し、文化施設として活用しています。平成26(2014)年には、優れた造形などが評価されて国登録有形文化財に登録されました。建設から60周年を迎えた文化センターの「ココがすごい！」をいくつか紹介します。文化センターをご利用の際は、建物の細部もぜひご覧ください。

### 文化センターのココがすごい！

設計者

文化センターを設計したのは、建築家の吉田五十八(1894-1974)です。現代建築に日本の伝統様式を融合させた近代数寄屋建築の大家で、秩父宮、吉田茂、岸信介、岩波茂雄などの邸宅や日本芸術院会館などの建築を手掛けました。その優れた業績で文化勲章を受章し、没後は「吉田五十八賞」が設けられました。文化センターは、吉田の代表作の1つです。

水平を強調した直線の屋根は、吉田の建築の特徴の1つです。また、入母屋造り風のホール屋根、千本格子風の装飾、海鼠壁風の壁、寺社建築風の手すりをつけたバルコニーなど、随所に日本建築をアレンジした意匠が取り入れられています。



屋根



ホール屋根



装飾



壁



バルコニー

外観

内装

コンクリートに木目を転写させた梁、美しい貝をはめ込んだ扉の取っ手、特注の照明器具、定式幕を思わせるホール入口の扉、寺社建築の垂木を重ねたような作りで金箔を散らした金砂子張りのホワイエ天井など、凝った作りになっています。



梁



扉取っ手



照明



ホール入口扉



ホワイエ天井

ホール

羽を広げたような広い間口で花道や廻り舞台を備えたホールは、歌舞伎など日本の伝統芸能の上演に向けた作りになっています。天井は、屋根の三角形を模したデザインが繰り返し使われています。



舞台



天井

緞帳は2張あります。日本画家の杉山寧(1909-1993)と東山魁夷(1908-1999)が、この建物のためにそれぞれ「昇る陽」、「清暁」を描き、それを基に緞帳が作られました。文化勲章を受賞した2人の作品がそろう贅沢な空間です。

緞帳



杉山寧「昇る陽」



東山魁夷「清暁」

## 5. これまでの経過

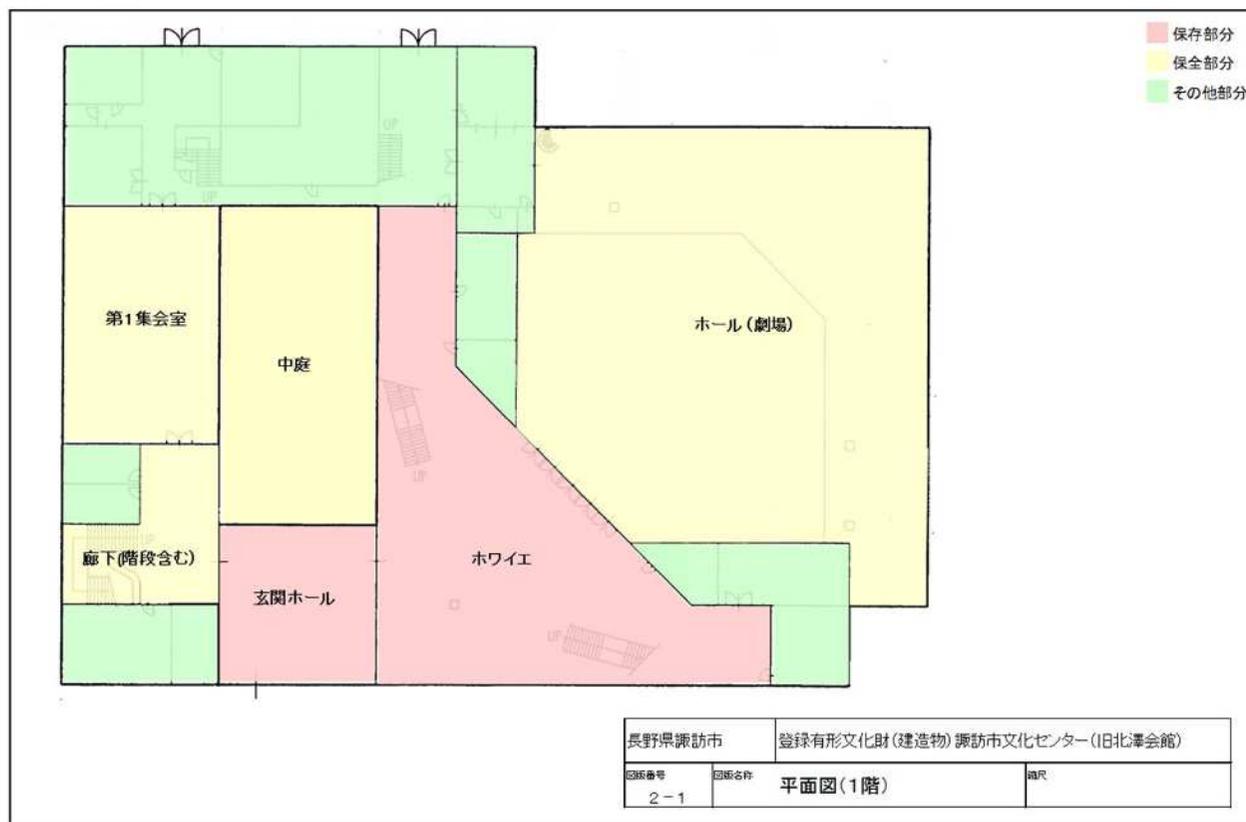
年度	経 過	議会への報告
平成26年度	・国登録有形文化財に登録される。	
平成28年度	・第4・5回の駅周辺市街地あり方検討会において、文化センター周辺生涯学習施設のあり方や、文化センターを保存活用した場合の今後の見込み等について議論がなされ、保存活用していく方針が示される。	H29.1.25 第2回全員協議会
平成29年度	・耐震診断を実施し、主要構造部及びホール大天井等の耐震性不足が判明する。 ・「登録有形文化財（建造物）諏訪市文化センター（旧北澤会館）保存活用計画」の策定を開始する。	H30.3.5 社会文教委員会 H30.3.15 第4回全員協議会
平成30年度	・音響調査により、芝居や講演会など、言葉をはっきり聞かせる演目に適するホールであるという結果がでる。	H30.12.6 社会文教委員会 H30.12.11 第19回全員協議会
令和2年度	・保存活用計画策定完了。文化庁より計画が認定される。 ・改修検討資料作成業務により、建築後約60年経過した文化センターは、建築基準法やその他法令等に適合していない部分があることや、改修には概算で約28億円の費用が必要となることが判明する。 ・令和3年3月議会社会文教委員会において、改修検討結果を報告する。	R3.3.3 社会文教委員会 R3.3.15 第5回全員協議会
令和3年度	・文化センター保存活用に係るこれまでの協議経過の整理や改修を行う場合の財源、スケジュール、事業の優先順位等について、庁内関係課所において協議・検討を開始する。（～令和4年度）	
令和4年度	・文化庁・長野県教育委員会による現地指導を受ける。 ・文化庁からの令和5年度補助金の内示を受ける。	
令和5年度	・金子市長のマニフェストに「諏訪市文化センターの文化財的価値を保存しつつ改修し、文化、産業、活力創出の拠点として利用促進を図ります」を掲げ三期目をスタートする。 ・基本設計関連経費を、令和5年6月補正予算に計上する。	R5.6.20 第13回全員協議会 R5.6.21 社会文教委員会

## 6. 保存活用計画における保護の方針

### ○保存活用計画における 保護の方針 (保護の区分の設定)

図2 部分の設定 (内部諸室及び中庭) ※図示した全体が登録範囲となっている

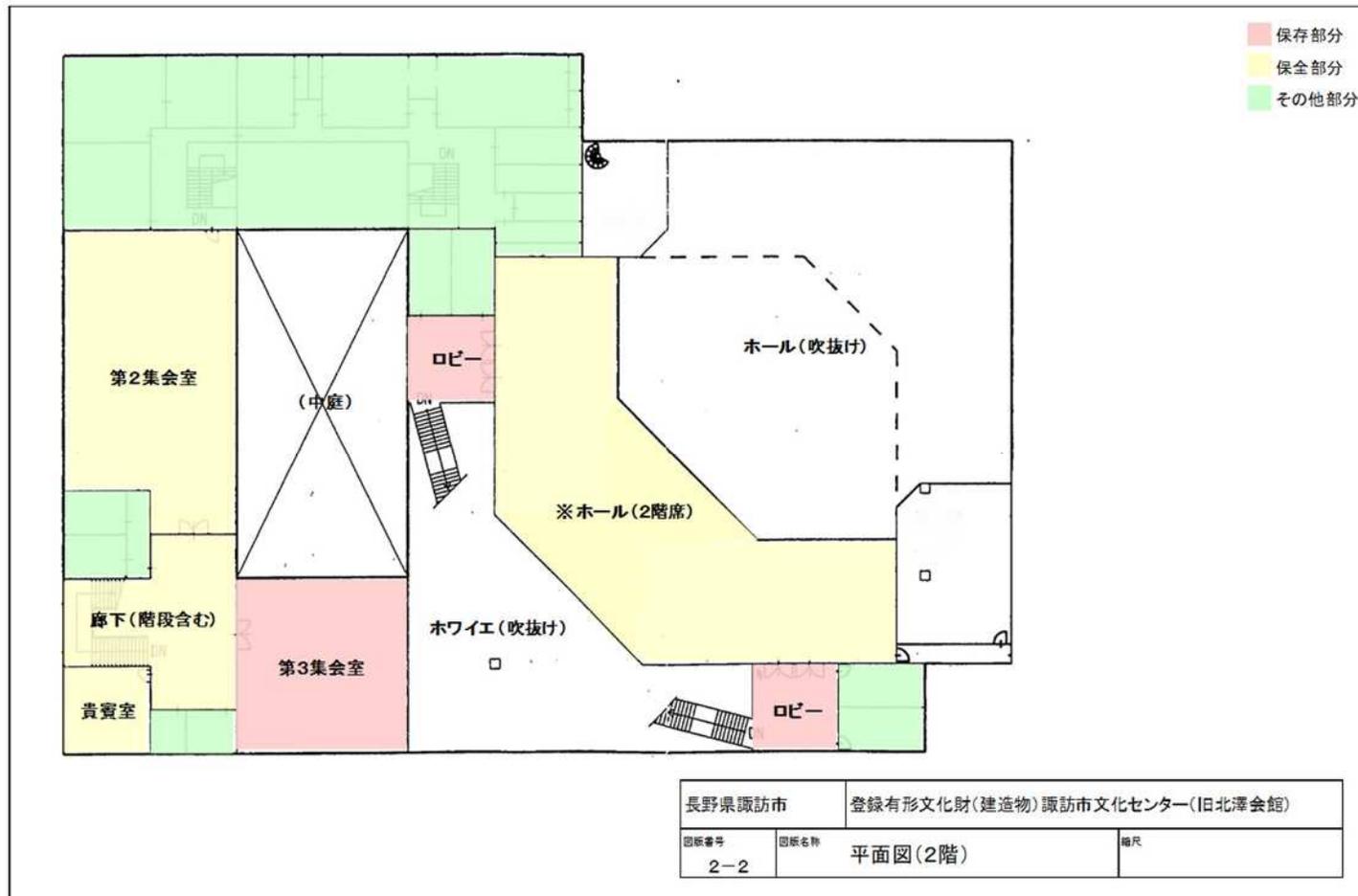
(1) 1階



保存部分	文化財として特に価値を有し、かつ設計者・吉田五十八の作風を顕著に表す部分。厳密な保存が必要。
保全部分	多少の設備・材料の更新はあるが、総じて内装をよく留めており、吉田五十八の作風が残されている部分。今後も維持と保全が必要。
その他の部分	上記以外の部分で、公共施設として適切な運営を行うために改変が許容される部分。必要に応じた整備等を行うことができる。

# ○保護の方針（保護の区分の設定）

## (2) 2階



# ○保護の方針（保護の区分の設定）

## （3）3階

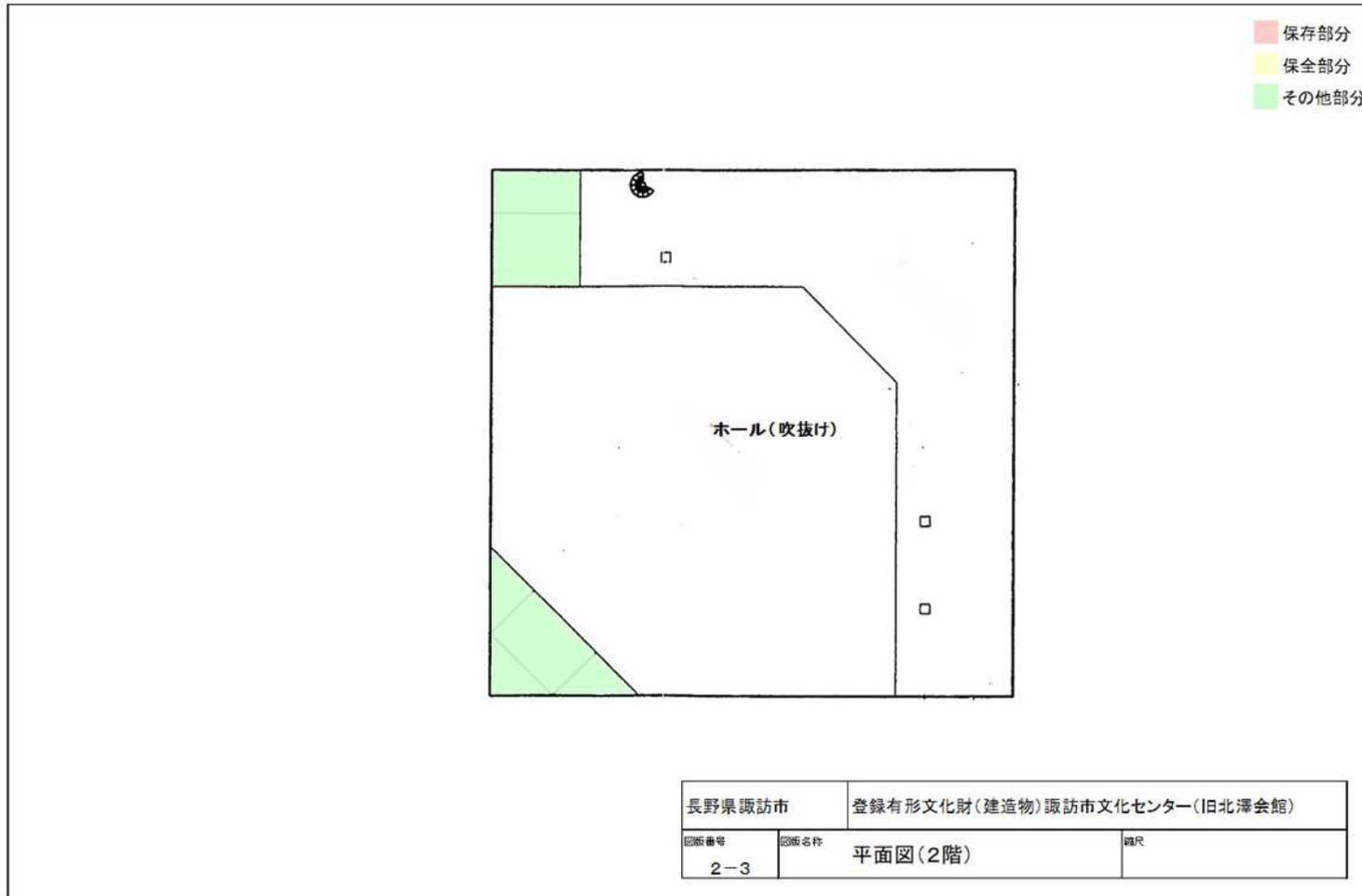
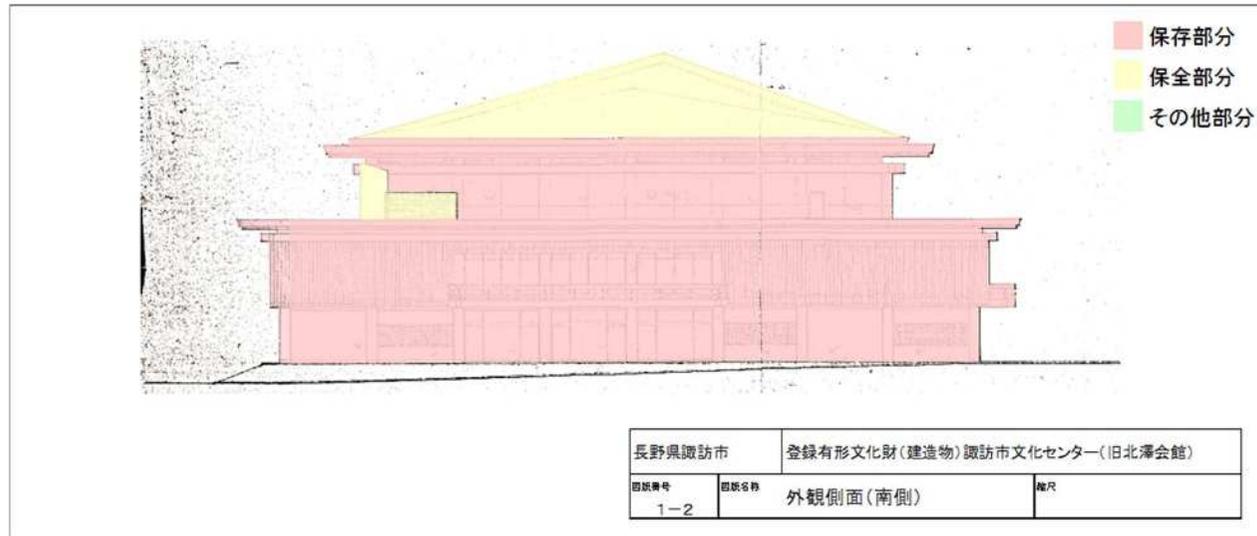
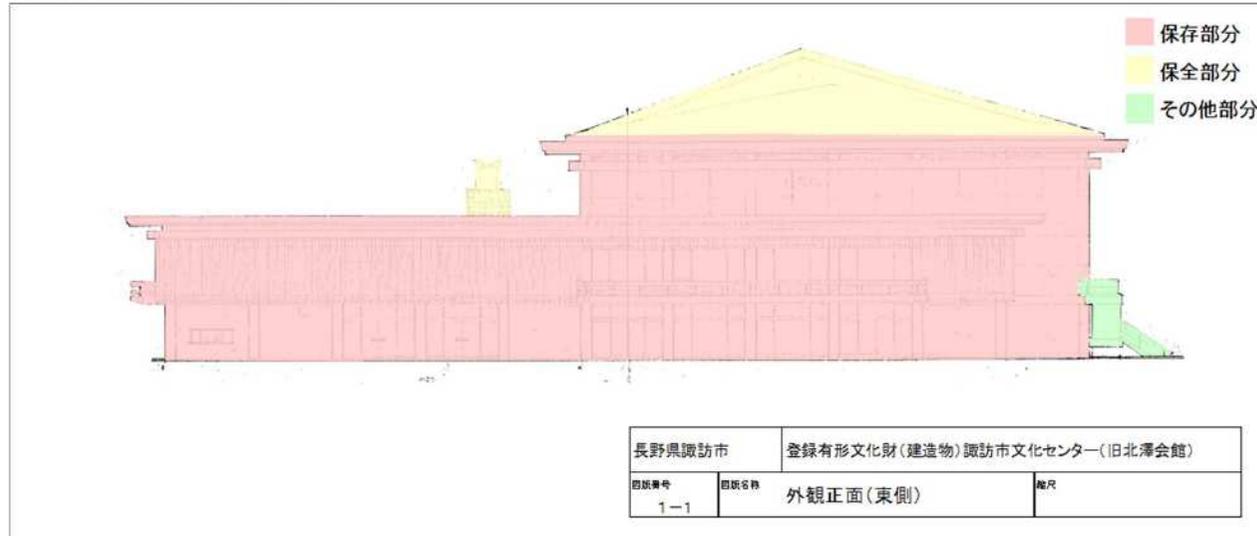
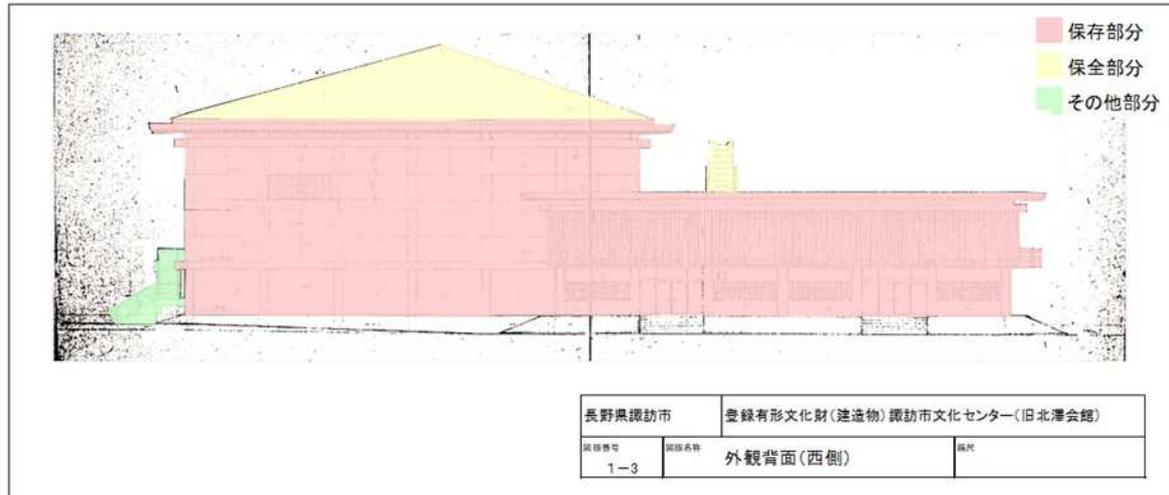


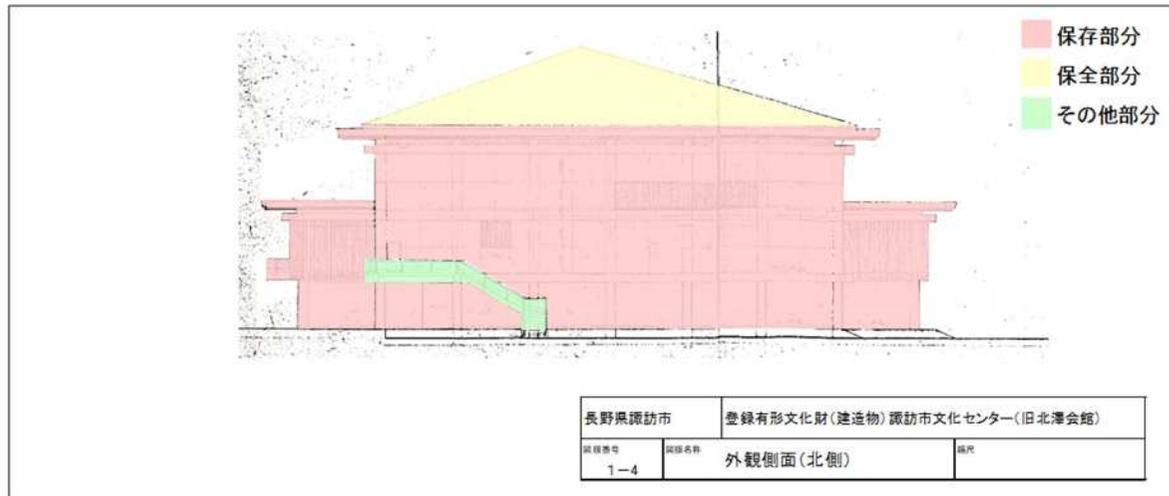
図1 部分の設定(外観) ※図示した全体が登録範囲となっている  
 (1) 外観正面(東側)



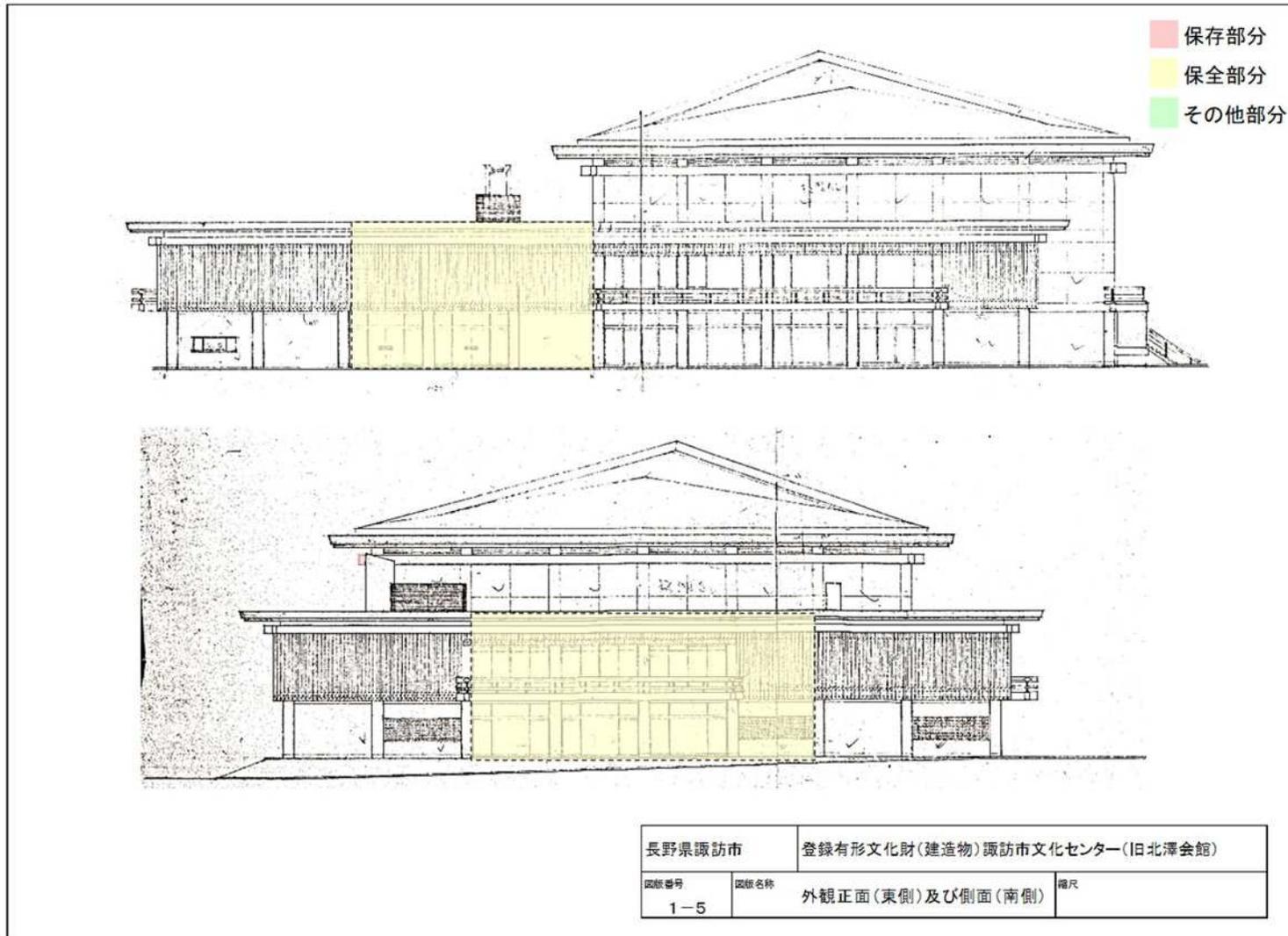
(3) 外観背面(西側) ただし、安全性の向上のために改変が必要な場合は、その他部分として扱うことができる。



(4) 外観側面(北側) ただし、安全性の向上のために改変が必要な場合は、その他部分として扱うことができる。



(5) 中庭（外観正面（東側）及び側面（南側））



# 7. 改修検討資料

## ☆前提と背景

### H31-R4 市長マニフェスト

A 集まり、遊び、楽しみまS U W A  
 ○生涯を通じて歴史、伝統、文化、芸術に親しむ市民活動を支援します  
 ・文化センターの保存活用計画を完成させ、**建物のもつ歴史、文化の価値を感じられるよう、改修**します。

### H29-R3 第五次諏訪市総合計画 後期基本計画

基本施策12ライフステージに応じた学びができるまち  
 (4) 生涯学習施設の老朽化への対応  
 基本施策14歴史や文化・芸術に彩られたまち  
 (1) **文化・芸術に親しむ環境整備**  
 (5) 歴史的環境や**文化財を活用したまちづくり**

### H30-R4 諏訪市教育振興基本計画

基本計画3ライフステージに応じた学びができるまち  
 ④生涯学習施設の老朽化への対応  
 基本計画4歴史や文化・芸術に彩られたまち  
 ①**文化・芸術に親しむ環境整備**  
 ⑤歴史的環境や**文化財を活用したまちづくり**

### H27-R3 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

四の柱 5 学べる、感じる「くらし」  
 (1) 子どもから大人まで、生涯学べる環境整備

## 諏訪市文化センターに求められる将来像

### H30 旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想

整備方針 方針4(1) 周辺エリアとの連携  
 文化センターや諏訪市公民館などの公共施設については、「諏訪市公共施設等総合管理計画」に基づき、将来的には施設再編を視野に入れた見直しが必要になるとともに、**文化センターは耐震改修を含めた機能向上改修**を検討しています。

### H29 駅周辺市街地あり方検討会

文化センター：**保存活用の方向**  
 (文化拠点、既存施設保存再生、産業発展の歴史を物語る施設等)

### 2019-33 諏訪市都市計画マスタープラン

将来都市構造 その他施設（市民生活維持に不可欠な都市施設等）

### H25- 諏訪市地域防災計画

**広域避難所**  
**一次避難所（広場）**

### H26- 国登録有形文化財

R2 諏訪市文化センター保存活用計画  
 ※**全国初の認定計画**

S D G s 4 質の高い教育をみんなに（子ども、障害等に配慮した教育施設を構築・改良し、安全で効果的な学習環境を提供できるように）  
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに（環境負荷の大きい化石燃料を使わない）  
 13 気候変動に具体的な対策を（気候関連災害や自然災害に対する強靭性及び適応の能力を強化）  
 17 パートナースhipで目標を達成しよう（効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進）

R3.3.3社会文教委員会説明資料 生涯学習課

### H29-R8 諏訪市公共施設等総合管理計画 市民文化系施設 個別施設計画

諏訪市文化センター **維持**  
**（諏訪市公民館 集約化）**

### 建築基準法、避難安全検証法等法適合

用途：適合せず  
 検査済証なし  
**大規模改修に伴い既存不適格箇所の適法化**  
 日影規制：要任意分割線の変更

### H29実施 諏訪市文化センター耐震診断

**【1階・R階指標下回る、天井耐震性能なし、外壁軒天剥離等】**  
 →耐震設計検討会

### H30実施 諏訪市文化センター音響調査

**【芝居や講演会など、言葉をはっきり聞かせる演目に適するホール】**

→ 適法化 → **安全の確保、集いの場の整備、魅力の発信**

諏訪市文化センター改修経費試算 概要

工事期間：18ヶ月（部分休館、全面休館）

改修経費：約28億円（直接工事費約21億円、仮設費・管理費・消費税約7億円）

（金額：千円、直接工事費のみ、仮設費・管理費・消費税含まず）

安全の確保

1,540,170千円

- 耐震化 479,995
  - ・特定天井の解消414,845（ホール客席改修含む）
  - ・R階鉄骨補強42,000
  - ・梁補強21,500
  - ・耐震壁増設1,650
- 施設の維持、老朽化による危険の回避 672,375
  - ・建築工事259,525  
（外壁・軒天・ルーバー・樋64,357雨漏り37,903建具157,265）
  - ・電気工事170,050  
（受変電・幹線動力設備102,150LED化67,200等）
  - ・機械設備工事242,800  
（冷暖房175,400配管59,000等）
- 防火防犯上の安全確保 387,800 + 避難安全検証法検討
  - ・非常階段改修900
  - ・自火報設備7,300
  - ・防犯カメラ8,600
  - ・スプリンクラー371,000
- 大規模改修に伴う既存不適格箇所の適法化
  - ・屋根改修191,302（特定天井解消内数）
  - ・内装155,696（集会拠点再掲）
  - ・スプリンクラー371,000（再掲）

集いの場の整備

487,596千円

- 集会拠点の整備 211,696
  - ・内装155,696（天井・壁・床・建具・日除等）
  - ・感染予防4,200（空気循環装置等）
  - ・大規模集会 ホール座席を講演会用に121,000（再掲）
  - ・小規模集会 可動壁による集会室数増加5,700  
バックヤードの一部集会室化15,100  
映像・音響・通信機器設置31,000
- 舞台設備の充実 169,500
  - ・吊物等改修170,000（別途）
  - ・音響・照明改修209,400（うちLED化47,800再掲）
  - ・映像機器設置7,900
  - ・楽屋の改修12,300（再掲）
- ユニバーサルデザインに配慮した設備の充実 106,400
  - ・集会室棟エレベーター22,500
  - ・ホール客席改修121,000（再掲）
  - ・トイレ増設改修21,100
  - ・同時通訳システム62,800
  - ・備品整備（軽量化、可動性）50,000（別途）

魅力の発信

66,600千円

- 講演会・芝居などに向く長所を活かす
  - ・ホール座席を講演会用に121,000（再掲）
  - ・舞台設備の充実吊物170,000音響照明209,400  
映像機器7,900（再掲）
  - ・楽屋の改修12,300（再掲）
- 文化財や産業遺産としての魅力を活かす
  - ・まちのランドマーク化 夜間照明点灯
  - ・展示もできる集会室の増設
  - ※吉田五十八、東山魁夷、杉山寧などをPR、建築意匠の魅力などを発信することは0予算
- 環境への配慮
  - ・暖房の一部温泉熱利用 66,600

諏訪の魅力を感じて施設へ  
～活かした文化財として～

市民が集まる施設へ  
～学びの場として～  
～誰もが使いやすい場として～

持続可能な施設へ  
～学びの場として～  
～避難所として～

☆ 一帯に求められる将来像

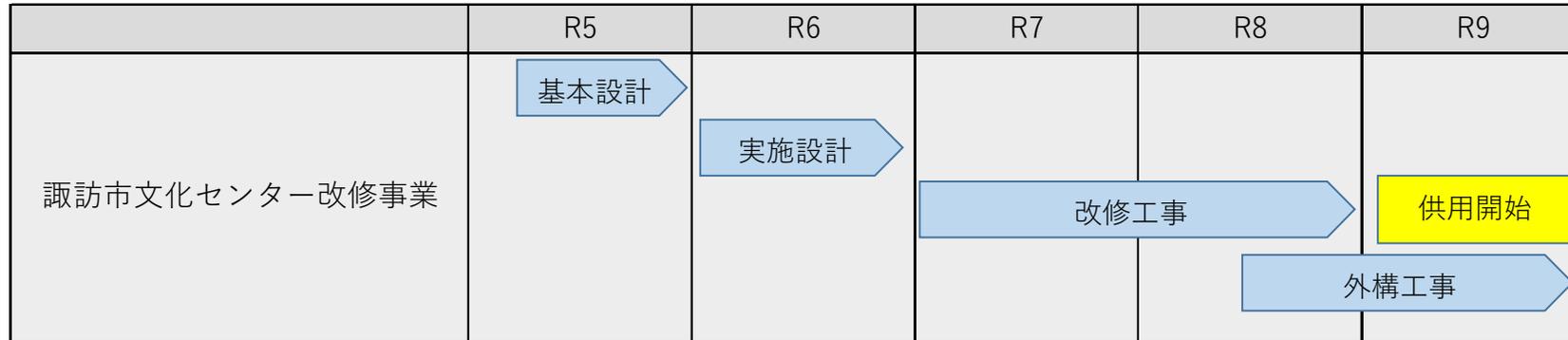
「こどもから大人まで、健康で楽しく学べる文化ゾーン」

- ・一体的な外構整備（駐車場、広場、植栽、等）
- ・運営方法の検討

→ 学びによるまちづくりの実現

## 8. 今後の見通し・進め方と概算費用

### ○整備の見通し



### ○基本設計業務について

- ・文化財としての価値を十分に理解をし、保存したうえで、ホールや会議室及び広域避難所としての安全性や利便性を高めることに加え、現状の施設で実現可能な省エネ改修を行うための予算規模や改修内容を検討することが基本設計の目的です。
- ・本日の説明会以降も、議員や市民の皆様を対象に、継続して説明を行うとともに、ご意見を伺う機会を設けます。また、必要に応じ、対面による市民説明会も設けます。
- ・基本設計の結果、想定を超える事態（金額の大幅増、補助金の見通しが立たない等）となった場合には、実施設計に入る前段で再検討を行います。

### ○概算費用について

事業名	概算費用	現在に置き換えた場合の概算費用
諏訪市文化センター改修事業	約28億円	国土交通省が示している「建設工事費デフレーター」を参考に試算をすると、現在、令和2年度から約1.2倍と見込まれることから、約33億6千万円と想定している。

## 9. 改修後のビジョン

### 諏訪市文化センター改修後の事業展開について（案）

生涯学習課

#### 基本理念：文化芸術活動の拠点として駅周辺の魅力向上

文化芸術に親しみ、生涯にわたって自発的に学び続け、個人やグループが学んだ成果を活かし、文化芸術を通じて仲間を広げ、人と人がつながる施設運営を目指し、駅周辺の魅力向上に寄与します。

#### 事業を展開する中で活かしたい諏訪市文化センターの特徴

- 1 伝統芸能に適した舞台構造、寄席をイメージさせる客席配置、聴講などに適したホール
- 2 会議や講座のほか即売会や展示会など多様な用途で使用可能な集会室
- 3 市街地の中で、約250台駐車可能な大型駐車場
- 4 諏訪の産業史を物語る文化遺産（吉田五十八による建築作品であり、国登録有形文化財）

#### 基本理念を実現するためのアプローチ(方針・具体的な取組)

##### ステップ1

##### 「鑑賞」(親しみ)

舞台を利用して上演される音楽や演劇等を客席から鑑賞する。

- 具体的な取組
- ・芸術祭（伝統芸能、音楽コンサート）
- ・生涯学習講演会 など
- ・野外コンサート（芝生広場にて）

##### ステップ2

##### 「参加」(活かし)

舞台を利用して上演される音楽活動や演劇公演に自ら加わり、表現活動に参加する。

- 具体的な取組
- ・諏訪市文化祭（芸能祭コーラス祭、高校生による書道パフォーマンス）
- ・生涯学習フェス（芝生広場にて課内各館ブース設置）
- ・スタッフボランティア育成
- ・文化芸術入門講座 など

##### ステップ3

##### 「創造」(つながる)

自ら舞台を利用して行われる音楽・演劇活動を企画（創造）し、上演を行う。

- 具体的な取組
- ・創作公演
- ・高校演劇
- ・ステージで聴くベーゼンドルファー など
- ・専門スタッフ配置
- ・市内高校生による創作ダンス大会

特徴や機能を活かし

住民参加により

文化芸術活動の拠点として駅周辺の魅力向上

#### 貸館事業

音楽・演劇公演、各種会議、研究大会、説明会、商談会、合宿（高校・大学サークル）など

#### 発信力の強化

貸館も含めたイベント一覧を発信

耐震化を図り、防災拠点としての機能向上による安全・安心な施設運営

## 10. 財政指標の見込み

財政指標の影響を試算するため、3つの事業費について次のとおり仮設定を行った。

### 3つの事業費の仮設定

諏訪市文化センター改修事業	35億円（仮）
上諏訪駅西口広場整備事業	} 80億円（仮） [うち、公社用地取得 30.5億円]
諏訪湖イベントひろば整備事業	

※文化センター改修事業については、令和2年度に実施した改修検討資料作成業務により試算した28億円に、国交省が示す建設工事費デフレーターによる伸び率を考慮した約33.6億円を基に35億円と仮設定

※駅西口広場・諏訪湖イベントひろばは、現時点で詳細未定のため、駅周辺は松本市村井駅周辺整備、諏訪湖イベントひろばは神奈川県平塚市の見附台周辺地区整備などを参考に、公社用地取得費を含めて80億円と仮設定

上記のとおり仮設定した事業費約115億円について、以下の財源を見込み、財政指標の試算を行った。

国庫補助	地方債	一般財源
約36億円（仮）	約61億円（仮）	約18億円（仮）
うち、文化センター分		
約13億円（仮）	約19億円（仮）	約3億円（仮）

## 財政指標の見込み

### 3事業を仮設定した事業費により実施した場合の実質公債費比率及び将来負担比率の見込み

年 度	早期健全化 基準	H 1 9 (健全化法施行)	R 2	R 3	R 4 (速報値)	ピーク時 見込み※
実質公債費比率 (%) (一般+公営+一部事務+広域)	2 5	1 1.0	5.2	5.9	6.6	1 1.3 (R20)
将来負担比率 (%) (一般+公営+一部事務+広域+公社)	3 5 0	1 7 8.8	8 2.1	6 7.2	5 6.5	8 3.9 (R15)

※ピーク時見込みについては、令和4年度（速報値）の各種数値を基準とし、3事業を実施した場合の起債借入などを加味して試算したもの（3事業以外の歳入・歳出などの増減は行っていない）

## 基金の現状

(千円)

年 度	H 1 9	R 2	R 3	R 4
財政調整基金	971,238	1,607,036	1,590,483	1,821,672
減債基金	1,614,029	1,014,979	1,307,690	1,310,738
ふるさと振興基金	—	382,077	592,374	887,236
企業版ふるさと納税基金	—	—	—	2,001
合 計	2,585,267	3,004,092	3,490,547	4,021,647